

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第 12 回定期社員総会議事録

令和 7 年（2025 年）5 月 11 日（日）午前 10 時 00 分、神奈川県横浜市中区寿町 1-4 神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、本会）第 12 回定期社員総会を開催した。

議決権のある正社員総数（2024 年 5 月 12 日現在の代議員総数） 76 名

総会開会における定足数 代議員総数の 3 分の 1 以上の出席

議場出席代議員数 23 名

議決権行使書数 12 通

委任状数 27 通

議決権の総数 62 通

総会役員	議長	田中 秀和氏
	議事運営委員	兵頭 夏海氏
		神原 文香氏
	書記	清水 謙太氏
	議事録署名人	宇都宮 裕人氏
		齊田 浩彰氏

出席理事・監事は次の通り

イ.代表理事 神保武則	ロ.理事 田中ゆかり	ハ.理事 吉本雅一
二.理事 玖島弘規	ホ.理事 望月強併	ヘ.理事 神田崇央
ト.理事 佐々木秀一	チ.理事 山勢健太郎	リ.理事 澤口勇
ヌ.理事 神保洋平	ル.理事 遠藤陵晃	ヲ.理事 奥原孝幸
ワ.理事 金山桂	カ.理事 佐藤隼	ヨ.理事 佐藤範明
タ.監事 野々垣睦美	レ.監事 錠内広之	

17 名の理事・監事が議場にて出席。理事 2 名と顧問が欠席。

その他、選挙管理委員長池田公平氏が出席。

午前 10 時 00 分定刻となり、玖島弘規事務局長は定期社員総会開会に先立ち、開会のあいさつを行った。続いて議長団の選出に移り議長は田中秀和氏が立候補により選任された。議長の議事進行により、議事運営委員は兵頭夏海氏、神原文香氏、書記に清水謙太氏、議事録署名人に宇都宮裕人氏、齊田浩彰氏が立候補され選任された。

代表理事神保武則氏があいさつを行い、社員総会の開会を宣言し、第 12 回定期社員総会を開始した。続いて、議事運営委員兵頭夏海氏より、総会成立及び総会議事運営案について以下のように提案し承認された。

I. 総会の成立

2025 年 5 月 11 日現在の代議員総数は 76 名で、午前 10 時 10 分現在、代議員総数のうち 23 名が出席、54 名が欠席、議決権行使書が 12 通、委任状が 27 通であり、議決権の総数は 62 通で、総会開会の定足数、代議員総数の 3 分の 1 以上を満たしており、本総会は成立していることを確認し報告された。

また下記の議事運営案を提示し賛成多数で承認された。

1. 本総会には、第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 4 号、第 5 号、第 6 号議案の他に議案は提出されていない。
2. 第 1 号議案及び第 2 号議案は 2024 年度の事業及び決算報告であるので一括して説明した上で、それぞれ審議する。
3. 本総会には定款・規程に関する議案が複数提出されている。第 3 号議案と第 4 号議案、第 5 号議案は一括して説明した上で、それぞれ審議する。
4. 第 6 号議案は個別に説明し、審議することとする。
5. 本総会より 2025 年度事業計画及び予算案については報告事項となっている。それぞれ説明した上で質疑応答の時間は設けるが審議は行わない。

II. 第 1 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業報告

2024 年度事業報告について吉本雅一副会長より説明した。

III. 第 2 号議案 2024 年度（令和 6 年度）決算報告ならびに監査報告

2024 年度決算報告について、財務部担当理事の望月強併氏より説明した。

監査報告については野々垣睦美監事より監査結果について説明し、活動ならびに収支が健全に行われていることを報告した。

第 1 号議案ならびに第 2 号議案に対する質疑については以下のように行われた。

質問者：福留大輔 代議員（横浜旭中央総合病院）

会員増ワーキングが立ち上がっているが実際には会員数が減少している。ワーキングとしての取り組みや増加に向けた取り組みは具体的にあるのか。

回答者：玖島事務局長

ワーキングの活動としては、新卒者の入会金、初年度年会費無料について臨時社員総会での成立を目標に活動を行ってきた。その後の取り組みとしては、広報活動に対する検討をしてきた。今後、ウェブサイトや県士会ニュース、LINE での発信をしていく。また会員数については 2024 年度入会者数 124 名、退会者数 118 名となり僅かに入会者が増加している。しかし強制退会者が 17 名おり、結果として退会者数が上回っている状況である。

質問者：福留大輔 代議員（横浜旭中央総合病院）

入会促進に向けた取り組みにおいて、新卒者以外への取り組みも重要だと考えている。ワー

キングとして新卒者以外への対応は検討してきたのか伺いたい。

回答者：神保会長

協会員＝県士会員の差が 1000 名程いる。これは大きな課題として考えている。新卒者以外には会員特典や権利について検討していきたい。

質問者：福留大輔 代議員（横浜旭中央総合病院）

新卒者に対する取り組みの効果について検証する必要がある。同時に新卒者以外への取り組みも必要である。特に新卒者以外が入会する際は会費を支払わなければならないため、格差を感じて、入会しない人が増える可能性もある。場合によっては新卒者以外の会費無料などの対策も考える必要があるのではないか。給与の差や入会に対する意識に目を向けた事業を展開して頂きたい。

質問者：清水謙太 代議員（Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎宮前）

職能団体に対する考え方が変わってきていると感じている。職能団体に関する意識調査が必要と考えているが、すでに行った調査があれば提示して頂きたい。また実施する予定であるか。

回答者：神保会長

以前、県士会の入会に関する調査を実施した。100 名を超える回答を得られ、会費に関するコメントが多数寄せられていた。情報を会員に届ける方法が課題であり、ツールの検討が必要である。

質問者：宮内貴之 代議員（湘南医療大学保健医療学部）

新卒者の入会金、初年度年会費無料にする上で何かしらのアウトカムを求めているが取り組み自体は何かあるのか。

回答者：神保会長

組織改編もあり、ワーキングに続く下部組織で取り組みを継続していく。アウトカムとしては入会者数と退会者数を出していく。

質問者：宮内貴之 代議員（湘南医療大学保健医療学部）

ポジティブデータだけではなくネガティブデータも分析しながら取り組んでもらいたい。

第 1 号議案採決

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

第 2 号議案採決

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

IV. 組織図改編について

定款の修正、規程の廃止、制定に先立ち、神保武則会長より組織図改編の背景や目的について説明した。主には副会長を 3 名体制にし、実働事業部門の補佐として活動する役を担う。また事務局機能の強化を目的に事務局次長を置き、事務部門の強化を図る。大きく分け

て事務部門として「法人管理運営部門」と実働部門として「公益管理事業部門」を設置する。

V. 第 3 号議案 定款の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会定款第 4 章、第 8 章の一部修正について規約委員会担当理事の神田崇央氏より説明した。

VI. 第 4 号議案 規程の廃止について

一般社団法人神奈川県作業療法士会組織規程の廃止について規約委員会担当理事の神田崇央氏より説明した。

VII. 第 5 号議案 規程の制定について

一般社団法人神奈川県作業療法士会組織規程の制定について規約委員会担当理事の神田崇央氏より説明した。

第 3 号議案、第 4 号議案、第 5 号議案において質疑がなかったため採決へ移行した。

第 3 号議案採決の前に定款の変更の場合、「第 72 条 本定款の変更には、総会において代議員総数の半数以上であって、代議員総数の 4 分の 3 以上の議決権を有する者の同意を得なければならない」ことになっている。この総会において代議員の半数以上が議決権行使あるいは委任状を提出していることが確認され採決に移行した。

第 3 号議案

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

第 4 号議案

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

第 5 号議案

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

VIII. 第 6 号議案 役員選挙結果について

池田公平選挙管理委員長から今回の役員選挙においては立候補者数と推薦候補者数が定数と同数となったため無投票当選となったことを説明し、質疑がなかったため採決へ移行した。

採決：賛成 62 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

IX. 報告事項

第 1 号 2025 年度事業計画について神保武則会長より説明した。

第 2 号 2025 年度予算案について財務部担当理事の望月強併氏より説明した。

第1号ならびに第2号に対する質疑については以下のように行われた。

質問者：重田優子 代議員（ふれあい平塚ホスピタル）

現在、日本作業療法士協会の事例登録制度は停止していると思うが、教育部の事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会の開催はどのようなことを行うのか。

回答者：神保洋平理事（教育部担当理事）

6月までは協会のシステム変更があり、停止している状況。今後の協会の動きは未定の部分もあるが再開された時のことを考え、取り組んでいく予定である。

質問者：重田優子 代議員（ふれあい平塚ホスピタル）

他団体の取り組みを見ると組織率が上昇している会が見受けられる。その取り組みの一つとして個人が学べる環境が整備されている。県士会でもオンデマンド配信などの取り組みを行うことはできないか。

回答者：神保洋平理事（教育部担当理事）

教育部としては日本作業療法士会の生涯学習制度に則って研修会を開催している。今後、協会の生涯学習制度も動き出し、その中でオンデマンド研修も盛り込まれているため、そちらも活用して頂きたい。

回答者：佐々木秀一理事（学術部担当理事）

県士会主催の研修会についてもオンデマンド配信できないか検討しているが権利の問題で進められていない部分がある。またクラウドの問題もある。しかしオンデマンド配信は有益であるため対応を検討していく。また今年度石川先生のご厚意で、研究助成事業での研究に関する内容をウェブサイトへ掲載予定となっている。

質問者：黒澤駿 代議員（茅ヶ崎中央病院）

MTDLP の研修会についての質問。研修会が複数開催されているが参加人数が少ない印象を受ける。理由は何かあるか。

回答者：奥原孝幸理事（MTDLP 推進委員会担当理事）

事例報告会については、回数を重ねるうちに参加者数が増えてきている。短時間開催の方が参加者が多い印象。事例報告については事前に資料を提出して頂き、講師が内容を確認している。1事例について40分～45分ほどかかるため、複数申し込みがあるとより時間を要してしまう。そのため少人数制の研修会となっている。

質問者：黒澤駿 代議員（茅ヶ崎中央病院）

かなり充実している研修会であることがわかった。参加者数だけでなく、研修会内容や取り組みについて発信できるとより魅力が伝わるのではないかと思う。

質問者：福留大輔 代議員（横浜旭中央総合病院）

学会予算についての要望。学会予算の使い道は実行委員会で検討し、可能であれば戻り金があればとの話であったが、Confit の契約料について把握しているか。

回答者：神保会長

複数年契約をすることで割引がされるようになっている。詳細な金額までは把握していな

い。

質問者：福留大輔 代議員（横浜旭中央総合病院）

Confit の契約だけで 100 万円以上かかり、場合によっては 150 万円ほどかかる。

それを踏まえた学会予算になっているのか考えてもらいたい。また予算の使い方やおおよその予算案について事前に示すべきではないか。ぜひ検討してもらいたい。

質問者：宮内貴之 代議員（湘南医療大学保健医療学部）

代議員へ予算案に対する意見聴取がされたがそれに対する回答が送られてきていない。意見を聞くのであればそれに対してどのような検討がされたのか回答して頂きたい。

回答者：玖島事務局長

意見聴取を行い、何名かの代議員から意見を頂いた。意見聴取への協力に対してお礼の連絡が出来ていなかったことに対してお詫びを申し上げる。頂いた意見については理事会内で共有し、それを踏まえて予算案や事業計画を作成してきた。特に予算案については複数回検討してきている。代議員からの意見はとても貴重なものであると認識しているため、今後ともご協力を頂きたい。

議長は以上をもって全議案の審議及び報告が終了したので午前 11 時 54 分に閉会を宣言し、議長団は解任となった。

最後に玖島弘規事務局長より、本総会でのご意見を今後の理事会運営に活かすとともに今後も当会の活動にご尽力頂けるようお願いをした。

以上をもって一般社団法人神奈川県作業療法士会第 12 回定期社員総会を終了した。

上記の決議を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2025 年（令和 7 年）5 月 11 日(日曜日)

一般社団法人神奈川県作業療法士会第 12 回定期社員総会

議長 田中 秀和 認印

議事録署名人 宇都宮 裕人 認印

議事録署名人 齊田 浩彰 認印